

【実践能力習得訓練コース実施例】

介護施設サポート科

40代 男性 精神障害の方(てんかん)

[1日の訓練時間] 4時間→6時間 [訓練期間] 2か月 [総訓練時間] 168時間

訓練内容	介護補助業務、清掃作業
受講動機	人当たりがよく、家族や友人に介護業界に向いているのではと勧められたが、経験がないため不安があった。適性を確かめるため訓練を利用。



■障害に対応した指導の工夫や配慮

『約2年ブランクがあるので、短い時間から始めたい。』

- ・訓練時間を、最初の1か月は4時間、2か月目は6時間に設定して行った。

『清掃作業についてのマニュアルがなかったため、手順や時間配分が分からず正しくできているのか不安。』

<企業側の対応>

- ・訓練指導者、支援者とともに手順を確認し、時間配分の目安を決めた。
- ・日報を利用し、不安や疑問をそのままにせずすぐに解決できるようにした。
- ・日報に、行った作業(かかった時間やこなした数など)をなるべく詳細に記載するようにして、成長が分かるように工夫した。

『介護業界が未経験のため、何をどうしてよいのか分からない時がある。』

<企業側の対応>

- ・できる範囲で構わないこと、現段階でも十分助かっていることを本人に直接伝えることで焦りを取り除いた。

■訓練の成果・訓練修了後の状況について

- ・決められた手順どおりに作業を行い、目安として設定した目標もクリアできた。
- ・頑張っていることを認められ、より率先して動けるようになった。
- ・訓練先で就職となり、介護の資格も取得。より上の資格取得も目指している。

